

家庭医による家庭医のための臨床セミナー 婦人科診察のスキルアップ

日時：平成23年5月29日（日）10:00～15:00

講師：佐野 潔 森町家庭医療センター 院長 場所：機械振興会館

季節外れの台風の接近で雨が降り続く5月29日、東京都港区の機械振興会館において佐野潔・静岡家庭医養成プログラム指導医、森町家庭医療センター所長を講師に迎え、家庭医による家庭医のための臨床セミナー『婦人科診察のスキルアップ』をテーマに開催しました。

講義に加え、シミュレーター（人体模型）を使用している実技講習、動画（実際のモデルによる海外医学教育用ビデオ）を見ながらの解説により、明日からの診察に活かせる内容となりました。

講義、シミュレーターを使用した実技、ビデオでの復習でスキルアップ

午前の部は婦人内診法。診察するうえでのポイントや陰鏡の使い方、苦痛を減らす方法の講義のちに臨床用女性骨盤部トレーナーを用いての実技をおこないました。実技終了後は復習として実際のモデルを診察しているビデオを見ながらの解説がありました。

午後の部は、乳房触診トレーナーを用いての乳房触診法と、「Office Gynecology」として家庭医に必要な婦人医療の知識や、日常よく見る症例を挙げて病歴からの鑑別診断や確定診断のプロセスなどを解説していただきました。



身振り手振りを交え内診のコツを伝える佐野先生

陰鏡の近い方や内診・触診の仕方などをジェスチャーを交えて分かりやすく説明していただきましたが、「シミュレーションを使用し自分で体験することができて良かった」との感想もいただきました。先生からのアドバイスは、毎日1人でも良いから実践していきましょう・・・です。

家庭医が婦人科診察をする重要性

米国とフランスで家庭医を開業され、米国ではミネソタ大学医学部家庭医学科准教授をされていた佐野先生に『婦人科』をテーマでセミナーをしていただいたのは、婦人科が専門医以外では苦手意識が多いということと、家庭医が婦人科をおこなう重要性があるからでした。家庭医は地域に密着し家庭の健康管理をおこないますが、家庭での健康管理は主婦の手中にあるケースが多く、その主婦の信頼を得ることが重要となります。主婦に信頼してもらえれば、お子さんやおじいちゃんおばあちゃんも安心して任せてもらえます。

質疑応答では、参加の先生から「家庭医が産婦人科診療をおこなうと産婦人科の先生から苦情が来るのでは？」との質問がありましたが、佐野先生は「産婦人科は患者さんが多く手一杯で、むしろ産婦人科の先生からは喜ばれることが多い。出産にこだわらず自分にできる範囲のところまですれば良い。妊婦健診を担当し、出産は専門医の先生にお任せをし、子供が生まれたら乳幼児・新生児の検診に来てもらえるような関係を作ることが大切」とおっしゃっていました。

次回は6月5日、池尻好聰先生によります「実習！ゼロからの筋骨格系診察シリーズ 第1回：肩」をパールホテル茅場町で開催いたします。